

右從鎌足公相統、今至光邦四十代目、中世  
略之、雁且貞政池田家奉仕、其後当国  
各務野原ニテ奉 輝政公江御茶奉捧、今ニ  
其所ニ申伝有之、其砌郷民為助、乱妨  
狼藉放火之事御停止、則御書ヲ以相断  
可申旨 輝政公・福島正則公御両将ヨリ  
御書頂戴、只今ニ所持仕居候、

右謹書

美濃国各務郡

嘉永六癸丑年九月日 加納鶉沼宿間更木住

赤座縫司

光邦（花押）

右之通廉々相調、岐阜法運寺娘備前国岡山城下ニ住ス、  
同女頼ニよつて、相認メ遣ス、